

令和3年1月10日

令和3年 年頭挨拶

呉地区柔道連盟会長 中原 裕侑

あけましておめでとうございます。令和3年を迎え謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。



昨年は春先から新型コロナウイルス感染症が世界各地で拡大し、私達を取り巻く状況も一変して来ました。経済、社会への影響は勿論の事、教育界、スポーツ界、そして柔道界でも今までに経験した事のない大変な事態となりました。コロナ禍に於いて呉地区柔道連盟の地域は、感染状況が拡大する前に無事に定期総会を開くことができ、役員改選で会長として再任されました。その後感染拡大の兆候が出始め、予定していた事業の月次試合や、9月に予定していた呉地区柔道大会を中止せざるを得ない状況になったことは痛恨の極みでございました。

10月には呉市でクラスターが起りましたが、呉市との連携で月次試合等の事業を実施することができ、年末まで継続して来ました。12月半ばより、再度日本中にコロナ感染症が拡大し、一部地域では緊急事態宣言が発令され、この影響により広島県柔道連盟及び呉地区柔道連盟の鏡開き式が中止になり、残念でなりません。

嘉納師範は、乱取りと形は文章と文法の関係だと説いています。柔道の修行では試合に特化して乱取り中心になっていますが、呉地区柔道連盟の方針として形の習得に力を入れてまいりました。その成果を発揮すべく広島県柔道連盟及び呉地区柔道連盟の鏡開き式で、「古式の形」を予定していましたが叶いませんでした。

この未曾有のコロナ禍の中、柔道を根本から勉強する事が必要だと感じております。柔道の修行は「形」「乱取り」「講義」「問答」と伝えられております。私たちは、この教えを理解していくことが柔道教育に繋がると考えています。「勢力善用」「自他共栄」の実践に努め、講道館柔道の精神と本質を発信して行きます。今後もこのような状況は続くと思われませんが、役員の皆様のご指導、ご支援、ご協力の程をお願いしてこの難局を乗り越えて行きたいと思っております。

最後になりましたが呉地区柔道連盟の会員の皆様とご家族にとりまして幸多い良い年になりますようにお祈り申し上げます。